

# アグリ筑西 2022 9月号

実りの秋が近づいてきました。  
忙しい時期が続きますが、  
体調を崩さぬようご注意ください。

県西農林事務所 経営・普及部門  
(筑西地域農業改良普及センター)  
筑西地域農業改良推進協議会 発行  
Tel : 0296(24)9206  
Fax : 0296(24)6979



筑西地域農業改良普及センターHPへアクセス！↑

## ナシ「恵水」の出荷が始まります！

茨城県育成のナシ新品種「恵水」は、大玉で甘みを強く感じる食味の良い品種で、消費者の皆様から高い評価をいただいています。

その「恵水」、今年もいよいよ収穫の時期を迎えました！今年の平均気温から予測した収穫開始時期は、8月の最終週の頃になります。もし売り場で「恵水」を見つけたら、是非ご賞味ください。

生産者の皆様におかれましては、適熟収穫の徹底により、高品質果実の出荷を意識していきましょう。「恵水」は、熟期になると果皮表面の緑色が退色し、黄赤褐色を呈してきます。ていあ部（果軸と反対側）の果皮にやや緑色が残る状態が適熟のサインです。但し、収穫期後半になると、表面色の進みが遅れる場合があります、収穫始期と同じ表面色では過熟になってしまう場合もあります。各産地の目揃えに従い、収穫盛期以降は、取り遅れの無いよう特に注意しましょう。

当普及センター管内の筑西市と下妻市の「恵水」栽培面積は、両市合わせて県全体の51%を占めています（R3までの苗木導入本数から試算）。

一方、県全体での出荷数量はまだ十分とは言えない状況です。今後とも、普及センターでは、「樹体ジョイント仕立て」等早期成園化技術と併せて「恵水」の普及推進を図っていきます。



写真：「栽培管理マニュアル」より

## 第2回農業学園「病虫害・農薬基礎講座」を開催！

7月29日に、農業学園第2回講座「病虫害・農薬基礎講座」（広域講座）を開催し、農業学園生13名（筑西地域：9名、結城地域：3名、坂東地域：1名）が参加しました。

第1部「病虫害基礎講座」では、病虫害の発生を防ぎ、安定生産の知識や技術習得のために、普及センター職員より、病虫害の種類と発生要因、対策等を説明しました。また、現物の病虫害サンプルを使って、診断方法を学びました。第2部「農薬基礎講座」では、化学農薬の基礎について知識を深めてもらうために、普及センター職員より、「使用上の注意点」、「農薬の種類」、「農薬の効き方」、「ローテーション散布」等について説明しました。また、農薬記録簿を見ながらRACコードや散布順番を確認し、これまでの農薬散布を振り返りました。

学園生からは、「病虫害や農薬の知識を深めることができた」、「農薬散布を見直す良い機会になった」、「学んだことを実践していきたい」等の感想があり、満足度の高い講座になりました。



病虫害診断実習の様子

### ◎次回講座「GAP講座」

日時：令和4年9月2日（金）  
14：00～16：00

ところ：茨城県立農業大学校 園芸部 講堂  
(茨城県坂東市岩井5205-3)

連絡先：県西農林事務所経営・普及部門  
小林・友部 TEL：0296-24-9218

# ドローン追肥現地検討会を行いました



7月8日に、下妻市の現地ほ場において、水稲省力技術「ドローン追肥」現地検討会を、生産者12名及び関係機関参加のもと開催しました。

近年、水稲経営の大規模化が進んでいますが、生産性をより高めて儲かる経営を実現するためには、スマート技術として注目されているドローンを用いた省力追肥作業技術等の確立が課題となっています。

そこで、当検討会では、ドローンによる追肥作業の特徴とメリット等について実演・検討しました。

今後も、先端技術を活用したスマート農業による水稲経営安定に向けて、引き続き検討してまいります。

## 「ナシ白紋羽病対策土壌消毒試験現地検討会」を開催しました

7月20日に、筑西地域青年農業士連絡協議会研修会主催で「ナシ白紋羽病対策土壌消毒試験現地検討会」を開催し、青年農業士、関城4Hクラブ員の8名が参加しました。

当試験は、深層まで土壌還元効果を促進することが期待される、糖蜜吸着資材を使用しました。今回は、当処理を行った試験区において、処理方法及び処理後の生育について検討しました。

参加者には白紋羽病で改植が困難となっている方も多く、当日は質問も多く出て、関心の高さが伺えました。

当技術はもともとトマトの青枯病等の防除技術であり、ナシの白紋羽病対策としては試験段階であるため、今後も継続して防除効果について調査する予定です。



## 筑西地域女性農業士会研修会を開催しました

7月12日に、筑西地域女性農業士会研修会を開催し、古河市内の2か所で研修を行いました。

1か所目は、(有)森ファームサービスで、有機栽培や農業体験といった取り組みについての説明を受けたあと、施設の見学および、自社の農作物を使ったそばがメインの昼食をいただきました。

2か所目は、三和のハーブ生産者の方を講師に、ハーブを使った石鹸やバスソルトづくり、自分の好みハーブを組み合わせたハーブティーの試飲を行いました。他地域の女性農業者との交流およびハーブの効能について学ぶことができました。



←森ファームの看板の前で集合写真

ハーブティー体験の様子→



## 普及員のひとりごと（萩原専門員）

4月に坂東普及センターから異動してきました。これまでは野菜の担当でしたが、筑西普及センターでは主に新規就農関係と農業経営士を担当しています。筑西地域は新規就農者獲得の取り組みにとっても熱心だと感じています。微力ながら皆様のお役に立てればと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。